

適用病害虫の範囲及び使用方法

作物名	適用場所	適用雑草名	使用時期	使用量	本剤の使用回数	使用方法	グリホサートを含む農薬の総使用回数	ペラルゴン酸を含む農薬の総使用回数
樹木等	公園 庭園 堤とう 駐車場 道路 運動場 宅地 のり面等	一年生及び 多年生雑草	雑草生育期 (草丈 30cm 以下)	15～30 mL/m ² (原液散布)	3回 以内	植栽地を 除く樹木 等の周辺 地に雑草 茎葉散布	3回以内	—
		スギナ		75～90 mL/m ² (原液散布)				
		イシクラゲ	イシクラゲ 生育期	120-180 mL/m ² (原液散布)				
		コケ類	コケ類 生育期	90-180 mL/m ² (原液散布)				

使用上の注意事項

- (1) 使用前に容器を軽く振ること。
- (2) 本剤はグリホサートを含む農薬であるので、他のグリホサートを含む農薬の使用回数と合わせ、作物ごとの総使用回数の範囲内で使用すること。
- (3) 本剤は茎葉処理除草剤なので、雑草の発生前に散布しても効果はない。
- (4) 本剤は散布時の雑草の草丈や茎葉面積が大きい程、効果が確実となるので、散布前に雑草の地上部を刈り払わないこと。
- (5) 本剤は処理翌日には部分的に初期症状を示すが、効果完成までにさらに日数を要するので、誤って再散布しないこと。
- (6) スギナ防除に際しては、スギナ発生初期及び生育衰退期では効果が劣るので、生育盛期に散布すること。また、スギナが他雑草の中に埋没しているような条件の散布では効果が劣ることがあるので、スギナに十分かかるように散布すること。
- (7) 一年生広葉雑草、または多年生雑草のうちススキ、セイタカアワダチソウ等の大型多年生雑草を主対象に使用する場合、所定範囲の多めの薬量を使用すること。
- (8) イシクラゲ防除に際しては、イシクラゲが膨潤状態である時に散布すること。
- (9) 処理後1時間以内の降雨は効果を低下させることがあるので、天候を良く見極めてから散布すること。
- (10) 農作物や有用植物に薬液が付着すると、激しい薬害が生じるので、飛散しないよう十分注意すること。
- (11) 水源池、養殖池等に本剤が飛散、流入しないよう十分に注意すること。
- (12) 容器の洗浄水は河川等に流さず、環境に影響を与えないよう適切に処理すること。
- (13) 散布後の空容器は3回以上水洗し、プラスチックごみとして捨てること。
- (14) 本剤は自動車・壁などの塗装面、大理石・御影石・敷石・砂利等の石材、レンガ、コンクリート等にかかると変色・シミの原因となるおそれがあるので、散布液がかからないよう注意すること。

(15) 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法等を誤らないように注意すること。